

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
基幹系無線システム作業班(第2回) 議事概要(案)

1 日時

令和2年10月28日(水) 15:00~16:20

2 場所

WEBによる開催

3 出席者(敬称略)

主 任:前原 文明

構 成 員:飯塚 正孝、市川 正樹、伊藤 泰成、小野沢 庸、小山 祐一、
北 直樹、工藤 友章、熊丸 和宏、小泉 聡、小嶋 正一、
小林 真也、関野 昇、武田 浩一郎、渡来 祐一、拮石 康博、
本多 美雄、前田 規行、宮城 利文

事務局(総務省):荒木 基幹通信室長、宮澤 課長補佐、岡田 第一マイクロ通信係長

4 配布資料

- 基幹作2-1 第一回作業班 議事概要(案)
- 基幹作2-2 回線設計手法と送受信規定
- 基幹作2-3 干渉軽減係数
- 基幹作2-4 11/15/18GHz帯のアンテナパターンについて
- 基幹作2-5 リファレンス方式について
- 基幹作参2-1 基幹系無線システム作業班 構成員名簿

5 議事概要

- (1) 開会
- (2) 議事
 - ① 第一回作業班 議事概要(案)について
事務局より資料「基幹作2-1」に基づき説明が行われた。
 - ② 回線設計手法
NTTドコモより資料「基幹作2-2」に基づき説明が行われた。
 - ③ 干渉軽減係数
NTTドコモより資料「基幹作2-2」、NECプラットフォームズより資料「基幹作2-3」に基づき説明が行われた。
 - ④ アンテナパターン
日本電業工作より資料「基幹作2-4」に基づき説明が行われた。また、その後の質疑等において、18GHz帯のアンテナパターンの規定については、現行規格の設計に影響を与えない範囲で、Gamaxに代わる規定の整理を行うことが示された。
 - ⑤ 多値変調におけるリファレンス方式
ARIBより資料「基幹作2-5」に基づき説明が行われた。その後の質疑等において、前回の情通審答申では最高次変調によることとあるが、一部のルートに限り、特段

の理由がある場合には低次変調での運用が可能となるよう、他のルートへの干渉等影響について今後確認することとなった。

⑥ その他

事務局より今後の予定について説明が行われた。

次回作業班は11月25日(水)の予定。

(5) 閉会